

①当共済組合全体の重点取組事項

疾病特性 の区分	共済組合全体の 方向性	左記方向性に基づき 必要と考えられる保健事業		事業目的	法定事業（●） 支援金加減算対 象	当共済組合 全体の重点 取組事項	支部で今後必 要と考える事 業	これまでの 支部事業
生活習慣病 (タイプ1)	・特定健康診査・ 特定保健指導の 実施率向上 ・組合員等の利便 を考慮した実施体 制の整備及び周 知 ・事業主健診の結 果授受その他の事 業者との間の事務 を円滑に行うため の所要の整備 ・個人に合わせた 情報提供の拡充 及び実施方法の 工夫（必要に応じ ICTを活用） ・LDLとHbA1cに ついて優先的に改 善 ・若年層に対し健 康増進に寄与する 事業を推進	1-1	特定健康診査 （事業主健診結果受 領・人間ドック）	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うと ともに、特定保健指導をはじめとした各種予防対策を 必要とする者を的確に選別すること。	●	○	○	○
		1-2	特定保健指導 【1次予防】	対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言 を行い、これを通じて生活習慣病に移行させないこ と。 （医療費の適正化）	●	○	○	○
		1-3	個別性の高い情報提 供（ICTの活用を含 む） 【1次予防】	健診結果から自らの健康状況を認識するとともに、 健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深 め、主体的に健康の維持・改善活動を行うきっかけ となるよう意識づけを行うこと。 （健康行動への意識づけ）	○	○		
		1-4	生活習慣病に関する意 識啓発 【1・2・3次予防】	参加者が生活習慣病予防に関する必要な知識を 獲得し、必要な意志決定ができるように、そして生活 習慣病予防に自ら積極的に取り組む実行力を身に つけることができるよう援助すること。			○	○
		1-5	医療機関の受診勧奨 【2次予防】	対象者が健診結果から自らの健康状況を強く認識 し、生活習慣病の早期治療の開始（医療機関の 受診）や、生活習慣の改善行動に繋がるよう促す こと。 （高額医療への発展リスクの低減/生涯医療費の 抑制）	○			
		1-6	重症化予防 【3次予防】	既に治療を開始している対象者において、かかりつけ 医と連携し、身体機能の維持に必要な自己管理の 指導及び助言を行い、これを通じて慢性疾患の重 症化や合併症の発症・再発を防止すること。	○		○	
		1-7	40歳未満に対する人 間ドック・保健指導	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うと ともに、対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び 助言を行うことで、40歳に到達したときにメタボリック シンドローム及びその予備群に該当しないこと。		○	○	○

疾病特性 の区分	対策の方向性	左記方向性に基づき 必要と考えられる保健事業		事業目的	法定事業（●） 支援金加減算対 象	当共済組合 全体の重点 取組事項	支部で今後必 要と考える事 業	これまでの 支部事業
(続き)	※今回、1-8～ 12について注目し た分析は行ってい ないが、当共済組 合における重点取 組事項としている。	1-8	運動習慣づくりの支援	運動施設の利用等を通じて、運動習慣を継続する ための機会を提供すること。	○	○	○	○
		1-9	飲酒が健康に与える影 響についての意識啓発	飲酒が健康に与える影響に関する必要な知識を獲 得して、必要な意志決定ができるように、そして節酒 に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることが できるように援助すること。		○		
		1-10	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)の認知度の 向上	組合員等が広報等を通じてCOPDに関する知識を 獲得し、自ら予防に取り組むよう誘導すること。		○		
		1-11	禁煙についての意識啓 発	組合員等が禁煙に関する必要な知識を獲得して、 必要な意志決定ができるように、そして禁煙に自ら 積極的に取り組む実行力を身につけることができるよ うに援助すること。	○	○		○ (県)
		1-12	禁煙支援	喫煙者に禁煙プログラムへの参加や禁煙外来の助 成、禁煙補助薬の配付・助成を通じて、禁煙を開 始させ、定着化させること。	○	○		
悪性新生物 (タイプ2)	・特に婦人がん検 診の拡充	2-1	胃がん検診	胃がんの早期発見の機会提供を行うこと。	○		○	○
		2-2	大腸がん検診	大腸がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-3	肺がん検診	肺がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-4	乳がん検診	乳がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○	○
		2-5	子宮頸がん検診	子宮頸がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○	○
		2-6	その他のがん検診	上記5大がん以外のがんの早期発見の機会提供を 行うこと。			○	○
		2-7	がんに関する意識啓発	組合員等が婦人がんを始めとしたがんに関する必要 な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、 また、がんの予防及び早期発見に自ら積極的に取り 組む実行力を身につけることができるように援助する こと。		○		
精神の疾病 (タイプ3)	・法定のストレス チェック受検後の フォローアップに活 用することを意識	3-1	メンタルヘルス相談	メンタルヘルスに関する個別の相談に応じ必要な指 導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。	○	○	○	○
		3-2	メンタルヘルスに関する 意識啓発	参加者（一般の組合員等/管理監督者）がメンタ ルヘルスケアに関する必要な知識を獲得し、必要な 意志決定ができるように、そしてメンタルヘルスケアに 自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができ るように援助すること。		○	○	○
		3-3	ストレスチェック (心の健康チェック事 業)	メンタルヘルス不調の気付きを促すとともに、ストレス の原因となる職場環境の改善につなげること。（スト レスチェックは事業者を実施義務があるため、共済組 合はそれを支援する。）		○	○ (県)	○ (県)
歯の疾病 (タイプ3)	※今回、歯科に注 目した分析は行っ ていないが、当共 済組合における重 点取組事項として いる。	3-4	歯の喪失防止について の意識啓発	発生する年代・性別に応じて歯科疾患の予防に関 する注意喚起の情報発信及び保健物資の配付を行 うこと。		○		
		3-5	歯科健診	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供を行うこと。	○			
季節性疾患 (タイプ3)	・重点取組事項で はないが、加減算 の指標の1つであ る。	3-6	予防接種の実施	インフルエンザ予防接種等の負担軽減を実施するこ とで、感染予防を行うこと。	○			
その他 (共通)	・組合員等の年齢 及び性別等に応じ た効果的かつ効率 的な事業	4-1	健康相談	心と身体全般に関する相談に応じ、必要な指導及 び助言を行い、悩みや不安を解消すること。				
		4-2	個人の予防・健康づく りに向けたインセンティブ	健康に関する問題意識の喚起及び行動変容を実 現するよう援助すること。	○	○		
		4-3	職場環境の整備（コ ラボヘルス）の推進	組合員が保健事業に参加しやすい職場環境を醸 成し、個々の組合員が健康づくりに自主的に取り組 みやすい環境が職場において実現すること。	○	○	○	○

②これまでの事業（既存事業）の整理

健康課題	これまでの事業		必要と考えられる保健事業の対応No	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者						事業予算 (２９年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	継続有無	継続する場合：課題があれば改善策 継続しない場合：理由
	No	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
生活習慣病 (タイプ１)	1	日帰り人間ドック	1-1 1-7	人間ドック受診費用の一部補助	共済・互助会	男女	３０歳以上					247,376		有	
	2	1泊2日人間ドック	1-1	人間ドック受診費用の一部補助	共済・互助会	男女	４０歳以上							有	
	3	脳ドック	1-1	脳ドック受診費用の一部補助 ３年に１回に限る	共済・互助会	男女	４０歳以上							有	
	4	特定健康診査	1-1	被保険者/人間ドック・定期健康診断結果の受領 被扶養者・任意継続組合員/受診券を配布	共済	男女	４０歳以上	男女	４０歳以上	男女	４０歳以上	17,836	被扶養者及び任意継続組合員の受診率が低い	有	今後受診方法等検討する必要がある
	5	受診勧奨	1-1	特定健診未受診者に対し受診を促すはがき配布	共済			男女	４０歳以上	男女	４０歳以上			有	
	6	意識啓発	1-4	特定健診受診券配布時に生活習慣病及び特定健診に関するリーフレット同封	共済			男女	４０歳以上	男女	４０歳以上			有	
	7	特定保健指導	1-2	被保険者/人間ドック内で実施、訪問型特定保健指導実施 被扶養者・任意継続組合員/利用券を配布	共済	男女	４０歳以上	男女	４０歳以上	男女	４０歳以上	30,033	被保険者、被扶養者及び任意継続組合員いずれの受診率も低い	有	今後受診方法等検討する必要がある
	8	運動習慣づくりの支援 (選択型厚生事業助成)	1-8	健康管理、健康増進のためスポーツ施設等を利用した際、その費用の一部助成	互助会	男女	すべて	男女	すべて					有	
	9	禁煙サポートセミナー	1-11	教職員の喫煙率が高い学校を会場にし、禁煙外来等を実施し、喫煙の害等の知識を有する医師を講師としてセミナーを開催	県	男女	すべて (主に喫煙者)							有	
悪性新生物 (タイプ２)	10	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて							有	
	11	大腸がん検診	2-2	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて							有	
	12	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて							有	
	13	婦人科検診	2-4	乳がん検診の実施	共済	女	３０歳と４０歳以上の偶数年齢					2,592		有	
	14	婦人科検診	2-5	子宮がん検診の実施	共済	女	２０歳以上の偶数年齢							有	
	15	婦人科検診	2-6	甲状腺がん検診の実施	共済	女	３０歳と４０歳以上の偶数年齢							有	
精神の疾病 (タイプ３)	16	教職員カウンセリング	3-1 4-1	悩みやストレスを感じている組合員に対し、カウンセラーによるカウンセリングを行う（年度内１２回まで無料で利用可能）	共済	男女	すべて					8,829		有	
	17	メンタルヘルス研修	3-2	セルフケア及び管理監督者によるケア等に関して、各対象者向けに実施	県	男女	各研修対象者							有	
	18	ストレスチェック	3-3	県立学校及び事務局職員を対象に実施	県	男女	すべて							有	
その他 (共通)	19	ウォーキンググランプリ	1-8	健康の保持増進を目的に同所属内でチームを作り、１ヶ月間でのチームの合計歩数を競う（上位チームには商品用意）	共済	男女	すべて					2,133		有	
	20	職場の健康づくり支援事業	4-3	各所属で行われる健康づくりに関する講習会、講演会及び研修会等に要する費用の一部補助	共済	男女	すべて					450		有	
	21	宿泊補助	-	共済組合宿泊施設の利用料金の一部補助	共済・互助会	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて	48,344		有	
	22	骨密度検診	-	対象者のうち希望者に骨密度検診実施	共済	女	２５歳以上の５歳刻みの年齢及び退職予定者					891		有	
	23	選択型厚生事業助成	-	健康管理用の器具、あんま、マッサージ、歯科矯正等利用した際の費用の一部助成	互助会	男女	すべて	男女	すべて					有	

＊（参考）県、互助会の事業も記載

③新規事業の整理

[illegible]

④今後実施する事業

健康課題	事業		必要と考えられる保健事業の 対応No	事業内容	実施 （共済/事業主/共 同）	対象者						決算（R2年 度） 単位：千円	実施状況 （目的に照らして内容は適切か、課題等）	既存/新規	継続事業：課題があれば改善策 新規事業：成功のために必要な事項
	No	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
生活習慣病 （タイプ1）	1	日帰り人間ドック	1-11-7	人間ドック受診費用の一部補助	共済・互助会	男女	3 0 歳以上					235,415		既存	
	2	1泊2日人間ドック	1-1	人間ドック受診費用の一部補助	共済・互助会	男女	4 0 歳以上							既存	
	3	脳ドック	1-1	脳ドック受診費用の一部補助 3 年に 1 回に限る	共済・互助会	男女	4 0 歳以上							既存	
	4	特定健康診査	1-1	被保険者/人間ドック・定期健康診断結果の受領 被扶養者・任意継続組合員/受診券を配布	共済	男女	4 0 歳以上	男女	4 0 歳以上	男女	4 0 歳以上	8,387	被扶養者及び任意継続組合員の受診率が低い	既存	
	5	受診勧奨	1-1	特定健診未受診者に対し受診を促すはがき配布	共済			男女	4 0 歳以上	男女	4 0 歳以上			既存	
	6	意識啓発	1-4	特定健診受診券配布時に生活習慣病及び特定健診に関するリーフレット同封	共済			男女	4 0 歳以上	男女	4 0 歳以上			既存	
	7	特定保健指導	1-2	被保険者/人間ドック内で実施、訪問型特定保健指導実施 被扶養者・任意継続組合員/利用券を配布	共済	男女	4 0 歳以上	男女	4 0 歳以上	男女	4 0 歳以上	22,393	被保険者、被扶養者及び任意継続組合員いずれ の受診率も低い	既存	人間ドックを実施する医療機関と連携し、ドック当日の 受診勧奨を徹底するようお願いする。
	8	運動習慣づくりの支援 （選択型厚生事業助成）	1-8	健康管理、健康増進のためスポーツ施設等を利用した際、その費用の一部 助成	互助会	男女	すべて	男女	すべて					既存	
	9	禁煙サポートセミナー	1-11	教職員の喫煙率が高い学校を会場にし、禁煙外来等を実施し、喫煙の害 等の知識を有する医師を講師としてセミナーを開催	県	男女	すべて （主に喫煙者）							既存	R4より共同事業として実施体制を見直し予定
悪性新生物 （タイプ2）	10	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて							既存	
	11	大腸がん検診	2-2	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて							既存	
	12	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて							既存	
	13	婦人科検診	2-4	乳がん検診の実施	共済	女	3 0 歳と4 0 歳以上 の偶数年齢					3,224		既存	
	14	婦人科検診	2-5	子宮がん検診の実施	共済	女	2 0 歳以上の 偶数年齢							既存	
	15	婦人科検診	2-6	甲状腺がん検診の実施	共済	女	3 0 歳と4 0 歳以上 の偶数年齢							既存	
精神の疾病 （タイプ3）	16	教職員カウンセリング	3-1 4-1	悩みやストレスを感じている組合員に対し、カウンセラーによるカウンセリングを 行う（年度内 1 2 回まで無料で利用可能）	共済	男女	すべて					5,445		既存	
	17	メンタルヘルス研修	3-2	セルフケア及び管理監督者によるケア等に関して、各対象者向けに実施	県	男女	各研修対象者							既存	
	18	ストレスチェック	3-3	県立学校及び事務局職員を対象に実施	県	男女	すべて							既存	
その他 （共通）	19	ウォーキンググランプリ	1-8	健康の保持増進を目的に所属所単位で申し込み、1ヶ月間での合計歩数 を競う（上位所属所・上位参加者には賞品用意）	共済	男女	すべて					1,611		既存	
	20	職場の健康づくり支援事業	4-3	各所属で行われる健康づくりに関する講習会、講演会及び研修会等に要す る費用の一部補助	共済	男女	すべて					33		既存	
	21	宿泊補助	-	共済組合宿泊施設の利用料金の一部補助	共済・互助会	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて	154		既存	
	22	骨密度検診	-	対象者のうち希望者に骨密度検診実施	共済	女	2 5 歳以上の 5 歳刻みの年齢 及び退職予定者					790		既存	
	23	選択型厚生事業助成	-	健康管理用の器具、あんま、マッサージ、歯科矯正等利用した際の費用の一 部助成	互助会	男女	すべて	男女	すべて					既存	

* (参考) 県、互助会の事業も記載

⑤事業の年度計画

健康課題	事業		平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	No	名称						
生活習慣病 (タイプ１)	1	日帰り人間ドック	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	2	1泊2日人間ドック	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	3	脳ドック	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	4	特定健康診査	目標実施率：84%	目標実施率：86%	目標実施率：88%	目標実施率：88%	目標実施率：89%	目標実施率：90%
	5	受診勧奨	目標実施率：15%	目標実施率：20%	目標実施率：25%	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	6	意識啓発	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	7	特定保健指導	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	目標実施率：35%	目標実施率：40%	目標実施率：45%
	8	運動習慣づくりの支援（選択型厚生事業助成）	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	9	禁煙サポートセミナー	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
悪性新生物 (タイプ２)	10	胃がん検診	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	11	大腸がん検診	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	12	肺がん検診	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	13	婦人科検診	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	14	婦人科検診	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	15	婦人科検診	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
精神の疾病 (タイプ３)	16	教職員カウンセリング	実施方法の見直し・拡充	実施方法の見直し・拡充	実施方法の見直し・拡充	実施方法の見直し・拡充	実施方法の見直し・拡充	実施方法の見直し・拡充
	17	メンタルヘルス研修	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	18	ストレスチェック	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
その他 (共通)	19	ウォーキンググランプリ	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	20	職場の健康づくり支援事業	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	21	宿泊補助	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	22	骨密度検診	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	23	選択型厚生事業助成	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し

＊（参考）県、互助会の事業も記載